

総合戦略推進懇話会の会議録

会議の名称	令和4年度座間市総合戦略推進懇話会		
開催日時	令和5年3月13日(月) 15時30分～16時20分		
開催場所	市役所5階 5-6会議室		
出席者	座間市総合戦略推進懇話会委員		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	—
非公開又は一部公開とした理由			
議題	第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和4年度評価報告書について		
資料の名称	資料1 座間市総合戦略推進懇話会設置要綱 資料2 第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度評価報告書(案)		
会議の結果			
	各委員の意見を、評価報告書や今後の地方創生の取組に活かすものとする。		
議事の詳細			
事務局	本懇話会の概要等を資料1に基づき説明。		
委員長	第2期座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度評価報告書について、資料2に基づき説明。		
委員	事務局からの説明、報告書について、御意見や御質問、あるいは地方創生として人口減少や、地域経済の活性化などについての考えをお願いしたい。		
	主に基本目標2のところに係るような内容になると思う。座間支店、相武台北支店、座間駅前支店の3箇店を一括して運用しているが、銀行全体の話を見せてもらう。まず、昨年12月末現在、横浜銀行全体では預金残高が前年同月比で、6.8%の伸びである。貸出残高も同様に前年同月比で、6.8%伸びている。これが銀行全体のデータだが、ここで座間支店、我々が管轄するところの3箇店については、預金残高は前		

年同月比でプラス6.5%。一方で貸出残高は、前年同月比でプラス2.1%の伸び。預金については、全行並みの伸びを示しているが、貸出については、全体で6.8%の伸びに対して、こちらの支店においては2.1%の伸びということにとどまっている。これについては、神奈川県下の状況を見ていくと、特に東京からアクセスの良さというところもあり、色々と高層マンションが立ちあがっているエリアがあったり、企業活動のところにおいては、橋本のリニアの誘致であったり、東名高速、新東名高速のインターチェンジ辺りに色々とできたりという形で、個人の消費、企業活動ともに活発なエリアはあるが、好調なところとそうでないところが二極化しているところもあり、どちらかというところ座間支店については、そうしたところのお客様をとりきれていないかなというのが正直ある。住宅ローンなどについても、伸びてはいるが、近年を見ると、海老名の地域であったり、相模大野辺りであったりの高額なマンションが売れており、そこに対して住宅ローンがついているというのはあるが、この域内においては、それほど高額な物件がなかったということで、ローンの残高も伸びていないという実情があると認識している。その中で、どのような形で営業活動に取り組んでいるかというところ、これは商工会様との連携にもなってくると思うが、先程の話にもあった事業承継、ここについては、そのまま廃業という選択ではなく、引き続きやっていきたいというM&Aのようなところを、ニーズの発掘ということで、そこをお手伝いして手数料を頂戴すると。あとは、最近取り組んでいるのは、企業の生産性向上のためのDX化。その辺りについては、皆さん考えてはいるが、どうやっていいかわからないと言っていて、こちらが色々とサービスを提供してあげると、比較的「そんなこともできるのだね。」と。勤怠管理についても、やはり紙ベースでやっている企業様も多いので、生産性の向上のお手伝いをできればと考えている。それが、その企業にお勤めの個人の方の働きやすさにもつながってくると思う。その活動を通じて、企業様の収益系の向上になった、それが個人の賃金の向上の循環になれば良いなという活動をしている。私共としては、やはりこの地域にあっては、なくてはならない銀行と位置付けをしてもらえる活動をし、地域貢献できればということでやっている。

副委員長

自分の専門としての分野から色々お話しできればと思う。一つ質問で、アンケートをとられているが、11ページ、子育てしやすいまちに

なっていると思う市民の割合というところだが、これは全体に聞いた中でこのような回答が出てきたのだろうと思う。例えば、今回は34%だが、66%近くはそうは思っていないとの回答であったと考えてよいのか。あと、やはり子育てをしやすい集合体は、私が絡んでいる分野がそうなので興味をもって見てしまうのだが、子育てしやすいということ自体については、医療の問題、医療サービスを受けやすいであったり、公園の整備であったり、安全な環境であったりと色々あると思う。ただ、コロナのことも含め、色々な働き方が変化していく中で、いかに今の家計を支えて、と考えた時に、どうしても保育を頼らざるを得ない家庭というのは増えてくるし、そうなった時に残念ながら座間市は待機児童ワースト1からまだ抜けていないと思う。その理由はいくつかあると思う。私なりに、これはどうしたのかなということが一つあって、それは、地域、例えば厚木や、秦野、相模原、それから海老名もそうだが、認定こども園にどんどん移行していつている。今までのような保育所、幼稚園という区分けではなくて、それぞれのいいとこどりをした認定こども園という、新しい子ども・子育てのための環境を整えているが、座間市は残念ながら1園もない。そのこと自体も、不思議だなというのが少しある。例えば、保育のことを考えたときに、建物を建てて、待機児童をどんどん引き取る、と言っても、そこで働く保育士の確保をできなければ、それはもちろん絵に描いた餅になってしまうし、最近の学生たち、私の学校を見ると、やはり認定こども園への就職者がどんどん増えている。それは、保育士や幼稚園教諭ではなく、保育教諭というのができたので、そちらにどんどん流れていくこともある。それから、潜在保育士の掘り起こしもそうだが、保育士を確保したとしても、今後少子化は多分止まっていけないことも想定して対策を立てていく必要がある。今日も別の会合で少子化に関する意見交換を行ってきたが、2040年度にはもうびっくりするくらい子どもの数が少なくなっていくとのデータがある。それを踏まえた上で、今、とりあえず保育施設を増やす、保育士を確保しろと言っても、それが多分、10数年後に今度は、保育施設、保育者の余剰が議論されることが想定でき、そういった問題を抱えつつ、対策をとっていかねばいけないのだろうと思う。それから、私が今所属している大学が相模原にあるので、そちらとの色々な関係もあるが、例えば、喀痰吸引研修というのをうちの大学でも行うが、何かと言うと、医療的なケアが必要な子どもたちに対して、今

<p>事務局</p>	<p>までは看護師資格がないとできなかった。例えば、痰の吸引が、保育士でもできるようにすることで、手厚く子ども達の保育、そういったことに悩んでいる家庭を見据えて、どんどん推し進めている。実はもう一つ、今後、進めていこうとしているものに、子育て応援公園という構想がある。相模原市は、子どもをとにかくどうやって増やしていくかということに徹しているようである。そのために必要な公園の整備であったり、喀痰吸引であったり、とにかく子育てをしやすいということは、医療ケアの問題であったりとか、地域の問題であったりとか、色々あると思うが、実際に子どもを安心して預けられ、なおかつ十分な医療的ケア、そういった問題を抱えている子どもたちも安心して、そこで保育のサービスを受けられる、というところを、表に出していくことが必要。そうすることで、例えば若い世代の方達でも、自分が子育てで体験したことによって、ここはいいよね、とそこに長く住んでいくことにつながっていくだろうし、バランスをうまくとりながらやらなければという難しいところはあるかと思う。先程言ったように、少子化のことを見据えながらの戦術を立てていかなければいけないだろうし、できれば保育士の確保ということで一つ言うと、やはり地域にみんな戻っていく。例えば、家は相模原にあるが、相模原市から通ってきている者は、相模原市で就職活動をするし、厚木市方面、秦野から通ってきている学生たちは、そちらに帰っていく。そうすると、やはり座間の方も、今は小学生からと考えているが、高校に入ってからよりも、保育、福祉は素晴らしいということを、小学校のうちから少し作っていく。それはもう、市だけとか、そういった大学、養成校ではなくて、小学校、中学校、高校と全部連携をとりながら、職場体験も含め、将来の保育、福祉に関わる人材を作っていくということでみんな動いている。そのことも含め、座間はなぜ待機児童数がワースト1から抜け切れていないのか、なぜ認定こども園に民間の施設が移行していかないのかというところも含めて、分析していく必要があるのかなと思っている。</p> <p>非常に示唆に富んだ御指摘をいただいた。御質問も含めお答えする。アンケートについては、こういった形で「子育てしやすいまちになっていると思うか」という聞き方をしているため、はい、という方も当然いるし、いいえ、という方もいる。34%は肯定的な御意見で、それ以外は基本的に否定的な意見だったと私も認識をしている。先程、御指摘のあった、待機児童のワースト1については、私共も非常に課題だと認識</p>
------------	---

をしている。一つは、今、非常に老朽化が進んでいる公立の保育園がある。定員を増やしたくても増やせない中で、今までいわゆる公設公営という形をとっていたが、公設民営という形で、この4月から新しい公設民営の保育園が開業する予定になっている。そういったことを今、私共としては取り組みながら、民間の保育園の協力も得て、定員を増やしていくことに取り組んでいるのが実情である。それから、今後、私共が持っている公立保育園については、順次改修できるところは改修しながら、定員の枠を広げていきたい。併せて、民間の保育園にも、枠を広げてもらいたい。そういった中で、先程、委員から御指摘のあった認定こども園の関係についても、相手方があることなので、私共は作りたいたいと言っても、合意がなくてはできないのだが、そこも取組はしているが、なかなか実績として、結果として表れていないのは実情である。御指摘のあったところは、私共の子どもの施策を担当する部署も認識しているので、そこについては御指摘のとおり。引き続き取り組んでいきたい。全体的な子育ての関係だが、委員の言うとおりの、例えば保育園が枠を広げれば、という、それは一つの要因ではあると思うが、いわゆるインフラの整備とか、例えば道路一つでも、ベビーカーを押している方が通りやすい改修を心掛けるとか、そういったところは、先程、説明の中で触れたが、実質、来月から令和5年度になる。新しい総合計画を、昨年12月の議会で可決いただいている。その中で、私共は今まで、基本的に人口が微増で、あまり減少するという経験がなかったが、いよいよ、この推計を見ると、減少というのが現実味を帯びてきている、非常に分岐点になっていると捉えている。他市の方も皆さん認識されていると思うが、人口減少をどうやって食い止めるのか、いわゆる社会増もあるが、やはり自然増というところで、お子さんを希望されるご家庭が、安心して子どもを産み育てるという環境を作りたいなと私共も思っている。その方針を総合計画で謳い、具体的な施策としては各課色々取り組んでいると思うが、例えば、これは他市もやっているが、令和5年度から小児医療を18歳まで無償化、所得制限なしにしたり、住宅を購入される子育て世帯の方には補助金を多めに出したり、1歳と2歳になったとき、経済的な支援が比較的弱いと私共で分析しているので、その一助となるよう、お祝い金を配ったり、そういうことは取り組んでいこうかなど。それらが全てではないが、状況を見て、また必要な施策については検討していきながら、予算との兼ね合いもあるが、取り組ん

<p>委員</p>	<p>でいきたいと思っている。確か、昨年も委員が言っていたと思うが、いわゆる保育園の先生になろうとしている方は、やはり地元を一番に考えているというのがあり、座間市に拠点を構えて、そういう方向に進んでいる学生が、しっかり地元に戻ってきているかというミスマッチについては、非常に注視していかなければいけないので、ぜひ連絡を密にしながら、状況も伺いながら、アドバイスをいただければと思う。</p> <p>私は、生まれてからずっと、座間に60年間住んでいるので、なんとなく、だんだん住みやすくなったな、という印象が強い。私が住んでいるところは座間駅だが、座間駅は海老名へ行くにも本当に近い、車で行くに近いし、駅でいうと1駅なので、よく賃貸物件を持っている方が、黙っていても人がどんどん入ってくる、出ていってもすぐに借りてくれる、家賃を上げてでも入ってくると。どうしてかという、不動産屋に聞くと、海老名と座間で同じ物件で比較すると、3割くらい座間の方が安いと。よく言うのが、新宿方面からずっと来ると、相武台か座間で止まる。海老名に住みたいけど家賃が高いから、一駅手前の座間に住む、という方が多い。買い物でも、やはり座間駅中心で考えると、下に行くとドン・キホーテがあり、海老名のららぽーと、マルイもある。信号にかからなければ、車だと7分くらいで行ける。イオンやコストコは、10分以上かかる。引っ越してきた方に聞くと、座間は家賃も安いし、住宅を購入しても安いし、魅力のある大型スーパー、例えばイオンモール座間というのは、神奈川県下で一番大きい。あとは、コストコ、ドン・キホーテがあり、海老名にも近いということで、結構魅力的だという話をされる。なかなか気付かない点だと思うが。それに私は人口がなぜ増えるのか、そういう因果関係だと思う。逆に言うと、イオンモールを考えてみたら、あれをマグネットと思って、あの中心に魅力ある、例えばラーメン屋さんとか定食屋さんを作れば、それに引き寄せられたお客さんが食べていくのではないかと。以前、イオンモールとコストコで、1日にどれくらい来るのか聞いたことがある。コストコとイオンモールで、1日4万人くらい来ると。それは、ちょっとしたイベントを毎日やっているような感じで、コストコだと県外からもたくさん来るので、今後も商工会としてもそれを活用し、新たなお店を作っていくことも良いのではないかと提唱していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>1点目は、7ページ目の市ホームページの閲覧件数。こちらの最後に、今後も、公式SNSと合わせて情報発信を行うとある。市長が各方</p>

<p>委員長 事務局</p>	<p>面で、来賓等で来て挨拶するときに、LINEのユーザーが8万人と言うが、非常に衝撃的である。この近隣の市、また神奈川県下を見ても、LINEの登録者全てが座間市民とは限らないと思うが、人口の比率にしても、あの人数というのは、非常に大きいことだと思うので、もし評価のところに書くのが問題なければ、その動向も、「SNSと合わせて」の「SNS」がLINEなので、会員数を得ることができたというのを記載すると良いのではないかな。もう1点は、9ページのKPI、年間商品販売額のところ。前回の総合戦略の委員をやっているときにも、最新数値が出てこないということで、このままだった。今回もこのままになると、2026年まで延々とこのままになってしまう。確かにもう数値が出てこないのに、評価のしようがないが、そうすると、ここの基本目標2の目標と施策、そしてこの評価結果が一つ抜けてしまう。それでは、この部分が何も動かなかったのかとなるので、ぎ・まごころプレミアム商品券のこと、ふるさと納税を開始したこと、こちらは非常に影響が大きいので、それを評価の参考値として挙げると。ふるさと納税は、地方に行った座間市出身の方々又は座間市を愛する方々が納税したいと、子育てや何々に投資してもらいたいということなので、そういう税収がこれだけあったと。この施策は、こんなに影響していると。それが、より住みやすい座間市を組み立てていく糧になり、暫定施策評価できるのではないかなと思う。それが、あしたを創る地域産業の活性化を目指して、というこの基本目標2のところ。そこに結び付いていくのかなと思っている。私が気付いた点はこの2点。</p> <p>今の御意見について、事務局から何かあるか。</p> <p>まず、LINEの関係は御指摘のとおり、本市の規模としては、先月末で83,900人の登録があるとの報告があった。それを活用しながら、例えばLINEで、今は他の市もやっているが、小学校を休む時に、今までは連絡帳を書いて登校班の人に渡していたのを、LINEでやるようにしたと。非常に便利になったものもあるので、どんどん積極的に活用していきたいと思っている。表記については、御指摘の部分を検討する。それから、KPIの年間商品販売額は、当然、私共では調査できないので、経済センサス等を使っているのだが、実はこれが、確認をしていないが、完全にその項目自体がなくなれば我々も考えるが、今回は最新値が出ていないだけで、何年後か、もしかしたら来年は出るかもしれないということもあるので、様子を見ている。これがずっと続くよ</p>
--------------------	---

<p>委員長</p>	<p>うであれば、委員の言うとおりに、また別のものを考えると、それは全体的な見直しのおきになるかもしれないが、御指摘を含めながら、今後の推移を注視していく。</p> <p>私からも、御質問というか、まず人口の推移で3ページのところに、これまでは少し微増で伸びてきたけれども、今後は減少していくということで、令和4年度が133,010人とあるが、1か月前にタウンニュースで、海老名市の人口増加率が半端ないことになっているとの記事があって、その中で座間市は減少に転じて2年連続だと書いてある。ここと辻褃が合っていない。おそらく、人口の捉え方というのは、住基人口があったり、推計人口があったり、色々な捉え方があるので一概に言えないが、この辺の事実関係を確認したい。あと、海老名市がとんでもない増え方をしているみたいで、1年間に2,015人増えていて、数年前までは座間市の方が人口が多かったが、何年か前に逆転されて、座間市は13万そこそこ、下手したら13万割るかなくらいだが、この春に海老名市は14万人達成し、14万人達成するのが3年前倒しになったと。先程、委員からもあったように、座間は非常に魅力的なまちで、地価が安かったり、不動産に手が出しやすかったりする。この基本目標で目指しているところにもあるが、定住者を増やしたいのと思う。おそらく、若い人が、マンションや戸建てを割と格安で買えるが、子どもが進学するタイミングでどこかに移ってしまうというのが結構多いのではないかと。座間に愛着はあるのだろうが、一生涯住もう、という形になる方がそれほどまでに多くないのかなという感じがする。あと、先程も話が出たが、ふるさと納税が昨年からはスタートし、実際の状況が今どのくらい売れていてこのくらい還元されているみたいなことが、今わからなければ良いが、わかれば教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず人口のところだが、実は、言い方は色々だが、実際、年度では過去に一旦落ちていることもあるが、傾向としてはずっと伸び続けているという認識でいる。少なくとも、極端に何年連続で落ち続けているという認識はないので、もしかしたらその辺の捉え方を、タウンニュースの方とうまくコミュニケーションできていなくて、そのようにとられているのかもしれない。私共の認識としては、基本的には微増ながら増え続けているという認識。委員が言うとおりに、私共も定住人口をなるべく増やしたいというのはあって、委員からも御指摘があったとおりに、物価的には海老名市と比べると安いし、また、割と都心に近いエリアであ</p>

りながら自然も多いとか、そういうところで魅力はあると、私も認識はしている。そのアピールが、それぞれはやっているけれども、それが戦略としてうまく伝わっていないというのもあり、それを反省している中で、先程申し上げた総合計画の中では、そういった横断的な取組も強化していこうというのも入れているので、今後地道にやっていきたい。また、定住人口というか、座間市を知ってもらうきっかけの一つとして、御指摘のあったふるさと納税についても昨年10月から取組を始めた。今のところ、記憶で恐縮だが、確か1月末で3,900万円くらいの御寄附をいただいている。個別の商品名は申し上げないが、圧倒的にいわゆるチケットが人気であるのは間違いない。そこについては、実は議会でも指摘があった。私共がふるさと納税を導入した一つの目的として、市内経済の活性化というのも掲げているが、偏りがあるので、そこは今後勉強しながら、魅力ある商品を届けたい。ふるさと納税は色々な目的があると思うが、そのサイトにアクセスしてもらうときは必ず座間市を見てもらえる。そうすると、今まで座間市という存在を知らなかった方の目にも触れることがきっかけで興味を持ってもらえるというのは、ふるさと納税の返礼品の魅力の一つだと考える。そういったところでも力を入れていきたいと思う。

委員長
委員

一通りの御意見はいただいたが、他に何かあるか。

1点気付いた点を。私も今回、総合戦略があるということで、ネット上で座間市というものがどう案内されているか、調べてみた。今皆さんから、この会議の中で、魅力的なまちということで、色々な大きなショッピングモールがあるとか、居住区が安いとかあった。しかしながら、私が感じる中では、座間市の人口の年齢比については高齢化している。高齢化した方々が遠方に足を運んでも、ショッピングモール、ららぽーとしかり、若者向けの店が非常に多い。そうすると、高齢化した座間市の人口、市民の皆さんをどうフォローするか、住みやすいとするか。やはり、医療と、中小企業の商店街とか、そういうところになかなか足を運べない。そこも含めて、座間市の生活環境を整えるというところで、思ったときにすぐ医療を受けられないというのが、かなりマイナス点になっている。まずそれが一つ。ちょっとした買い物をしたい時に、駅周辺には店はあるけど、それを外すと、全く小さい店。ちょっとこういうのを見たいなという時にはない、という評価がされている。やはり高齢の方々というのは、なかなか足を運ぶのが難しい方も増えてきて

<p>委員長 事務局 委員長</p>	<p>いる。そうすると、今後の座間市の人口動態、どのように座間市を住みやすくするかというのを、この基本計画の中の評価に少しずつ反映していかなければいけないのかなど。ただ、アンケートで返ってくる回答というのが、今後又は今現在の住みやすさというのが本当に反映されているのかというのを、しっかり見ていかなければいけないと思う。</p> <p>今の御意見について事務局から何かあるか。</p> <p>御指摘のとおりだと思う。</p> <p>今、委員が言われた意見というのは、多分座間市に限ったことではないと思う。社会福祉協議会、我々としても、高齢者のそういったいわゆる買い物難民だとか、そういったものに対して何かできることはないのかと検討している。</p> <p>他の委員は、いかがか。</p> <p>～特になし～</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>それでは、本日皆様にいただいた貴重な御意見を、事務局の方でとりまとめて、評価報告書への反映の是非について、検討してほしい。また今後、地方創生の取り組みに活かしてほしい。</p> <p>本日の協議はこれで終了とする。進行を事務局に戻す。</p> <p>続いて、次第5その他、今後のスケジュールについて説明する。</p> <p>本日、本懇話会において、御意見、御提言いただいた内容を事務局で検討し、最終版として確定したものをホームページに掲載する。また、各委員にも、この最終版を送付する。</p> <p>～閉会～</p>